

令和元年度 事業報告(公益)

I 事業の総括

令和元年度、本会は、1 生涯スポーツ社会の実現、2 競技力の向上、3 次代の健全育成という三つの基本方針の下、加盟団体及び関係機関・団体と連携協力し、公益4事業、収益2事業及び本会運営事業を積極的に推進した。

公益1＝生涯スポーツ振興事業では、総合型地域スポーツクラブに関する諸事業を通じてスポーツの魅力を発信するとともに、一般社団法人彩の国SCネットワークと連携し、総合型地域スポーツクラブの活動内容や経営安定の充実に努めた。

また、生涯スポーツの更なる普及・充実に努めるため、生涯スポーツ地域振興助成事業や指導者養成事業などを展開した。

公益2＝競技力向上事業では、「国民体育大会埼玉県選手強化5か年計画」のもと、第74回国民体育大会に臨んだ。目標(天皇杯・皇后杯ともに第3位以上を獲得)は達成できなかったものの、天皇杯は4位、皇后杯は4位という好結果であった。

また、将来を担うアスリートの育成では、ジュニアアスリートアカデミー事業とプラチナキッズ発掘育成事業との連携強化を中心に各競技団体及び中・高体連への支援・連携等に努め、多くの成果を挙げた。

特にプラチナキッズ事業では、中学生となったプラチナキッズ6回生～8回生の選手が全国大会で多くの好成績を収め、今後日本を代表する選手としての活躍が期待できる成果を収めた。加えて、来年度中学生に進学する第9回生の中にも年代別代表として国際大会に出場し、好成績を示す者が複数名出てくるなど、事業を通して今後の活躍が期待される選手を輩出することができた。

2020年東京オリンピックで彩の国アスリートが活躍できるよう、スポーツ科学の知見に基づくトレーニング指導、栄養指導及びメンタル指導、女性アスリートサポートを行い、競技力向上を総合的に支援した。

公益3＝スポーツ少年団事業では、東日本大震災復興祈念事業をはじめ、県・関東・全国等大会の開催・派遣、各種指導者の養成等を実施し、スポーツ少年団の充実に努めた。一方、残念ながら2015年スポーツ界を挙げて暴力等の絶滅宣言を行ったにも拘わらず、依然として同種の事象が発生しており、より一層、市町村本部との連携を強化し、未然防止の取組みとともに、暴力等の絶滅宣言の実現に向け、取り組む必要がある。

公益4＝スポーツ総合センター運営事業では、老朽化施設・設備等の修理・修繕に加え、利用者サービスの向上に努めた。

収益1＝大宮公園スポーツランドの運営は、大規模改修の結果、利用者が増加した。

収益2＝埼玉アイスアリーナの管理運営は、団体利用の拡充や、各種教室の拡大を図ることが出来た。

Ⅱ 事業報告

公益 1 生涯スポーツ振興事業

1 総合型地域スポーツクラブの育成推進

【内容】埼玉県と連携・協力して、地域住民による自主的、主体的な総合型地域スポーツクラブの組織化を図るため次の業務を実施した。

(1) クラブアドバイザーの配置(2名)

総合型地域スポーツクラブの設立や活動及び事務・経理処理等クラブ運営全般について指導・助言ができる者を配置した。(日本スポーツ協会の有資格者等)

(2) 広域スポーツセンター機能推進業務

埼玉県の委託を受け、主に総合型地域スポーツクラブに興味をもち、立ち上げようとしている人やスポーツクラブ等からの電話及び来所相談に対し専門的な助言を行うとともに、総合型地域スポーツクラブ等の要請に応じて会議等に参加し、専門的な助言を行うなどの業務を実施した。

また、総合型地域スポーツクラブ等の活動状況について適宜把握し、総合型地域スポーツクラブの活動実態に関する調査を行った。

ア 総合型地域スポーツクラブ等運営活動支援

(ア) 設立済市町村に対する訪問等による専門的助言

〔事業内容〕 設立済の市町村のスポーツ関係担当者等に対し、説明会や会議で、総合型地域スポーツクラブの意義や必要性等を説明した。併せて説明会の出席者等からクラブ設立に必要な情報を収集した。

〔実施回数〕 延べ5回(4市1町)

〔実施会場〕 さいたま市、所沢市、深谷市、戸田市、嵐山町が定めた場所及びクラブが指定した会場

〔参加者〕 延べ8名(行政関係者及びクラブづくりに意欲のある者)

〔経費〕 受取参加料：無料
派遣等にかかる費用：無料

(イ) 総合型地域スポーツクラブに対する訪問等による専門的助言

〔事業内容〕 クラブアドバイザーの指導・助言を経て設立した総合型地域スポーツクラブの活動状況や運営状況など現地ヒアリングを行い、一層の活性化を図るため指導・助言を行った。

〔実施回数〕 延べ26回

〔実施会場〕 各クラブのクラブハウスや公共施設等

〔参加者〕 延べ36名(クラブの運営に関わる者)

〔経費〕 受取参加料：無料 派遣等にかかる費用：無料

(ウ) 総合型地域スポーツクラブを目指す団体に対する訪問等による専門的助言

〔事業内容〕 クラブアドバイザーがクラブ運営の指導・助言を行い、令和元年度は新たに2クラブが設立された。

・特定非営利活動法人 Z00 スポーツクラブ(日高市)

・川島町総合型地域スポーツクラブ(川島町)

〔実施回数〕 延べ 27 回(4 クラブ)

〔実施会場〕 各クラブのクラブハウスや公共施設等

〔参加者〕 延べ 215 名(クラブの運営に関わる者)

〔経 費〕 受取参加料：無料 派遣等にかかる費用：無料

(エ)一般社団法人彩の国 S C ネットワークの活動支援

県内の総合型地域スポーツクラブ相互の連携及び親睦、情報交換を図ることで、地域スポーツの活性化及び生涯スポーツの振興に貢献することを目的に設置された一般社団法人彩の国 S C ネットワークに対し、運営における指導・助言を行った。

・総会の開催

〔実施期日〕 令和元年 6 月 15 日(土)

〔実施会場〕 さいたま市民会館うらわ

〔参加者〕 26 クラブ 44 名

〔経 費〕 受取参加料：無料

・ステップアップ研修会

総合型地域スポーツクラブの運営を円滑に進めるため、クラブマネージャー及び事務局スタッフ等の資質向上を図ることで、持続可能な運営体制を構築する機会を提供できた。

〔実施時期〕 令和元年 10 月 23 日(水)、30 日(水)、11 月 13 日(水)、20 日(水)、
12 月 11 日(水)、25 日(水)(計 6 回)

〔実施会場〕 スポーツ総合センター

〔参加者数〕 延べ 64 名

〔経 費〕 開催経費：講師謝金

受取参加料：(一社)彩の国 SC ネットワーク正会員無料、
その他 1,000 円

イ 総合型地域スポーツクラブ活動実態調査の実施

〔事業内容〕 県内の総合型地域スポーツクラブの活動状況や課題等を把握し、今後の育成推進や活動支援に資するため、書面及びクラブを訪問しての概要調査を行った。

〔対 象〕 96 クラブ

ウ 総合型地域スポーツクラブ連絡会議の実施(2 会場)

〔事業内容〕 総合型地域スポーツクラブの自立と安定した運営のために質的充実を目的とした連絡会議を開催し、クラブへの情報提供及び課題解決に向けた具体的な取り組み事例等について情報共有を行い、クラブ間ネットワークの促進と連携体制の構築を図った。

〔実施時期〕 ①令和元年 6 月 30 日(日)

②令和元年 7 月 6 日(土)

〔実施会場〕 ①スポーツ総合センター

②ウェスタ川越

〔参加者数〕 42 クラブ 52 名

〔経 費〕 受取参加料：無料

(3) 広報活動

ア 総合型地域スポーツクラブに係わる情報提供

〔事業内容〕 総合型地域スポーツクラブの支援業務等で得た情報を基に、各クラブの他、行政担当者やマスメディアなど随時情報提供を行った。

イ ホームページの掲載・更新

〔事業内容〕 総合型地域スポーツクラブの支援業務等で得た情報やクラブ作りのノウハウを本会ホームページに掲載・更新を行った。

2 生涯スポーツ地域振興助成事業の実施〔助成(補助)事業〕

〔実施内容〕 県内広域地区の各種スポーツの振興を図るため、二市町村以上の団体の交流事業に助成(補助)をした。

〔実施時期〕 平成31年4月1日(日)から令和2年3月31日(火)

〔実施会場〕 吉川市総合体育館他

〔参加者〕 35市町 19事業 9,609名 (※都合により1事業実施中止)

〔経 費〕 助成金額：定額100,000円

(総額の1/2助成：一事業総額200,000円以上)

3 市町村体育・スポーツ協会連絡会議の開催

〔事業内容〕 地域における生涯スポーツの振興を図るため、市町村体育協会・スポーツ協会との意見・情報交換を行うとともに、関係機関・関係者との連携を強化した。

〔実施期日〕 東部：令和元年6月25日(火) 14:00～
西部：令和元年6月28日(金) 14:00～
南部：令和元年7月5日(金) 14:00～
北部：令和元年7月2日(火) 14:00～

〔実施会場・参加者〕

東部：越谷市中央公民館	49名
西部：川島町役場	58名
南部：朝霞市総合体育館	41名
北部：上里町役場	36名

〔経 費〕 会場使用料・参加者飲み物代

4 日本スポーツ協会公認コーチ1・コーチ2養成講習会の開催 〔委託事業〕

(旧日本体育協会公認スポーツ指導者養成講習会の開催)

〔事業内容〕 県内各地域において、スポーツ教室等で指導をする人材を養成する。

(1) コーチ2：共通科目

〔実施期間〕 令和元11月2日(土)～9日(土)(3日間) 〔参加者数〕 31名

(2) コーチ2：専門科目1 競技

ア 空手道

〔実施期間〕 令和元年 9 月 23 日(月)～12 月 15 日(日)(5 日間) 〔参加者数〕 33 名

(3) コーチ 1 : 専門科目 3 競技

ア バレーボール(委託事業)

〔実施期間〕 令和元 12 月 7 日(土)～8 日(日)(2 日間) 〔参加者数〕 39 名

イ ソフトボール(委託事業)

〔実施期間〕 令和元年 11 月 10 日(日)～12 月 1 日(日)(4 日間) 〔参加者数〕 21 名

ウ スポーツクライミング(委託事業)

〔実施期間〕 令和元年 6 月 22 日(土)～6 月 30 日(日)(4 日間) 〔参加者数〕 11 名

エ ゲートボール(独自事業)

〔実施期間〕 令和元年 9 月 28 日(土)～12 月 22 日(日)(6 日間) 〔参加者数〕 12 名

〔受講対象〕 原則として、指導員 18 歳以上。※競技毎で別に定める。

〔経 費〕 支払参加料(個人負担：全競技共通)

コーチ 2 共通科目：日本スポーツ協会へ取り纏めて支払

コーチ 1 共通科目：NHK 学園(通信講座)へ直接払い

専門科目：日本スポーツ協会へ取り纏めて支払

5 県民総合スポーツ大会及び埼玉県駅伝競走大会の実行委員会の設置と支援

〔事業内容〕 埼玉県スポーツ振興計画が掲げるスポーツへの県民の多様な関わり方、

「する」、「みる」、「きわめる」、「まなぶ」、「ささえる」ことを実践・体感する機会づくりを全県的に取り組むために、埼玉県、埼玉県教育委員会及び関係団体とともに実行委員会を設置し、企画・運営に参画し資金の提供を行なった。

(1) 令和元年度第 32 回県民総合スポーツ大会の開催

「埼玉県実行委員会」

埼玉県、埼玉県教育委員会、公益財団法人埼玉県スポーツ協会、特定非営利活動法人埼玉県レクリエーション協会、埼玉県スポーツ推進委員協議会、各市町村、各市町村教育委員会、各市町村体育・スポーツ協会、各市町村レクリエーション協会、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会

〔実施時期〕 通年(参加する団体の大会全てが県民総合体育大会の一部となります)

〔参加人数〕

ア 競技部門 285 大会 177,617 名

・本会加盟競技団体・県高等学校体育連盟大会・県中学校体育連盟大会・県高等学校野球連盟大会・県スポーツ少年団大会・特別支援学校大会・ふれあいピック大会・障害者スポーツ大会関係団体

イ コミュニティ部門 72 大会 20,547 名

ウ レクリエーション団体種目 22 大会 9,090 名

エ 県小体連地区スポーツ大会 101 大会 186,382 名

オ スポーツフェスティバル 2019 5 月 26 日(日) 熊谷スポーツ文化公園

10,173 名

総計 481 大会 大会参加者総数 403,809 名

〔経 費〕 支払助成金：実行委員会経費の負担(150,000円)

(2) 埼玉県駅伝競走大会

「埼玉県駅伝競走大会実行委員会」

埼玉県・埼玉県教育委員会・公益財団法人埼玉県スポーツ協会・一般財団法人埼玉県陸上競技協会・埼玉県学校体育協会・読売新聞東京本社さいたま支局・さいたま市・上尾市教育委員会・桶川市教育委員会・北本市教育委員会・鴻巣市・鴻巣市教育委員会・行田市教育委員会・熊谷市・熊谷市教育委員会

ア 第5・6部(中学生：兼全国中学校駅伝大会予選)

〔実施期日〕 令和元年11月9日(土)

〔実施会場〕 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場及び特設周回コース

〔参加者〕 5部 中学校男子 63チーム(6区 18.26km)

6部 中学校女子 63チーム(6区 12.26km)

イ 第1～4部

〔実施期日〕 令和2年2月2日(日)

〔実施会場〕 熊谷スポーツ文化公園他特設コース(スタート：さいたま新都心)

〔参加者〕 1部 一般男子 25チーム(新都心—熊谷 6区 42.195km)

2部 市町村男子 24チーム(新都心—熊谷 6区 42.195km)

3部 高校男子 36チーム(新都心—熊谷 6区 42.195km)

4部 高校・一般女子 29チーム(鴻巣—熊谷 5区 20.7km)

計114チーム

〔経 費〕 支払助成金：実行委員会経費の負担(ア・イで2,150,000円)

6 「県民スポーツの日」及び「県民の日」への支援

(1) 「県民スポーツの日」(6月第1日曜日)・「県民の日」(11月14日)、公益財団法人埼玉県スポーツ協会創立記念日(2月26日)にスポーツ総合センターのトレーニング場を無料開放。

(2) トレーニング相談の実施

7 スポーツ活動の支援事業の充実

(1) 国民体育大会実施競技団体スポーツ安全管理推進活動の実施

〔事業内容〕 国民体育大会に本県を代表して参加する監督・選手が安心して大会に望めるように、日本スポーツ協会が実施する国民体育大会傷害補償制度の加入促進を図った。

〔加入実績〕 国民体育大会参加者傷害補償制度加入者数 1,194名

(2) 秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会の支援

主催：秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会実行委員会(構成メンバー：一般社団法人埼玉県自転車競技連盟・埼玉県・埼玉県教育委員会)

〔事業内容〕 昭和28年に秩父宮家から「秩父宮杯」を下賜され、平成30年度で66回目を迎える自転車道路競走大会で、本県ゆかりの地である秩父市で開催され、国内トップレベルの選手がエントリーする一般男子の部から中学生の

部まで9の種別があり、522名の選手が参加しました。埼玉県は自転車保有率第1位を誇っており、県内の自転車利用の拡大を図っていくなかで、本大会は県民に身近で国内トップレベルの競技を観戦する絶好の機会であり、自転車利用の促進にも大きな影響を与えている大会です。

〔実施期日〕 令和元年9月8日(日)

〔実施会場〕 秩父市特設周回コース

〔参加者数〕

部 門	距 離	エントリー数	実走数
エリート	75.3km	83名	55名
高校生上級	42.9km	80名	36名
高校生初級	21.6km	60名	29名
一般上級	42.9km	65名	52名
一般中級	42.9km	53名	47名
一般初級	21.6km	90名	74名
マスターズ	21.6km	64名	37名
女子	10.8km	15名	14名
中学生	10.8km	18名	17名
9部門		528名	361名

〔経 費〕 支払負担金：協賛金 50,000 円

(3) スポーツ活動助成事業

【事業内容】 本会加盟団体等の指定寄付により、スポーツ団体の活性化を図る。

ア サイニチホールディングス杯第4回彩の国 Spring フィギアスケート競技会

〔実施期日〕 令和元年5月3日(金・祝)～5日(日・祝)

〔実施会場〕 埼玉アイスアリーナ

〔参加者数〕 選手 327名 観戦者他 1,901名 計 2,228名

〔経 費〕 支払助成金 4,000,000 円(一般寄付充当)

イ サイニチホールディングス杯埼玉県室内選手権水泳競技会

〔実施期日〕 令和2年2月23日(日)

〔実施会場〕 セントポールズ・アクアティックセンター

〔参加者数〕 89クラブ 902名(選手)

〔経 費〕 支払助成金 2,000,000 円(一般寄付充当)

ウ スポーツ活動(環境整備)支援事業

【内容】 スポーツ活動に必要な競技用器具機材等の調達や活動する場所の確保などスポーツ環境の整備を行うことに助成する。

エ アイスホッケージュニア(中学生)育成事業(アイスホッケー連盟への助成事業)

〔実施期間〕 毎月第4金曜日 21時から22時30分

【実施会場】 埼玉アイスアリーナ

オ 女子アイスホッケー普及・育成事業

〔実施期日〕 毎月水曜夜2回、土日朝2回 計4回

〔対象〕 県内在住・在学の女子、または県アイスホッケー連盟普及事業参加者で、埼玉選抜等で活動した者。

※埼玉氷球ガールズ「第24回全日本女子アイスホッケー選手権大会(B)出場
(全国大会初出場初勝利)

〔実施会場〕 埼玉アイスアリーナ

8 スポーツ関係団体運営補助事業の実施

県民のスポーツ活動の窓口となる市町村体育・スポーツ協会及び県を単位とする競技団体に対して、その活動が円滑に行われるように各団体の運営費を補助した。

(1) 本会加盟団競技団体運営補助事業

〔補助金額〕 市町村体育協会・スポーツ協会：40,000円＋1月1日推計人口×1.5円
(千円以下切り捨て)

(2) 本会加盟団競技団体運営補助事業

競技団体：一律150,000円

(3) 学校体育団体等補助事業

〔事業内容〕 本会の他に県を単位とするスポーツ関連の統括団体の県費補助金を取り纏めて手続きをすることにより、円滑な要求活動と事務の効率化を図った。

〔取扱い団体〕 埼玉県学校体育協会・埼玉県高等学校体育連盟・埼玉県中学校体育連盟・埼玉県女子体育連盟・埼玉県小学校体育連盟・特定非営利活動法人埼玉県レクリエーション協会・埼玉県スポーツ推進委員協議会、7団体

9 顕彰事業

(1) 埼玉県スポーツ賞

〔事業内容〕 埼玉県の体育・スポーツの振興・発展に貢献し、その功績顕著な者及びスポーツ界で優秀な成績を収めた者に対し、埼玉県スポーツ賞を贈りその榮譽をたたえた。

〔表彰の種類〕

功労賞：長年にわたり体育・スポーツの指導に精通し、著しい功績をあげ、他の者の模範である者で、地域の体育・スポーツの普及・発展に寄与した者。

優秀選手賞：一般及び中学生・高校生(またはチーム)が、オリンピック大会・国際大会及び全国大会等で優勝した者(またはチーム)と3位まで入賞した者(またはチーム)

栄光賞：国際競技会・国内競技会において、特に傑出した競技成績を収めたチーム・団体(栄光旗)と個人(栄光楯)

会長特別賞：世界大会等で日本を代表し、特に顕著な活躍をした本県所属及び本県ゆかりで本会加盟競技団体が認めた者、また選考委員会が認めた者。

奨励賞：埼玉県内の小学校に在籍する児童で、公益財団法人日本スポーツ協会加盟の中央競技団体が主催する全国的競技大会に出場し優勝した者並びに、

国際連盟が主催する国際大会で8位までに入賞した者。

〔実施時期〕令和2年3月20日(金・祝)

〔実施会場〕県民健康センターホール

※新型コロナウイルス感染症予防対策により、式典は中止

〔受賞者〕受賞者総数：43団体(352名) 個人309名 合計661名

ア 功労者表彰

競技団体・学校体育団体等 34名

市町村体育協会 41名 功労賞総数 75名

イ 優秀選手賞

国際大会 優勝 個人 24名

準優勝 個人 6名

三位・入賞 個人 20名

全国大会 優勝 14団体(119名) 個人 74名

準優勝 13団体(64名) 個人 34名

三位 16団体(169名) 個人 53名

日本新記録 個人 3名

ウ 栄光賞

栄光旗 埼玉平成高等学校女子ソフトテニス部

(全国高等学校総合体育大会 女子団体 優勝)

栄光楯 小山 翔也 (蓮田市立平野中学校：陸上)

酒井 夏海 (武南高等学校：競泳)

小西ゆかり (飛鳥交通株式会社：ライフル射撃)

小久保寛太 (社会福祉法人かつみ会：パラスポ・陸上)

西田 杏 (三菱商事株式会社：パラスポ・水泳)

大崎電気工業株式会社ハンドボール部 (ハンドボール)

川口市立芝東中学校男子ソフトテニス部 (ソフトテニス)

埼玉栄中学校男子柔道部 (柔道)

エ 会長特別賞

瀬戸 大也(第18回世界水泳選手権大会競泳男子200m個人メドレー優勝)

(第18回世界水泳選手権大会競泳男子400m個人メドレー優勝)

古市 雅子(レスリング・2019年U-23世界選手権 優勝)

濱田 尚里(世界柔道選手権2019 男女混合団体 優勝)

百合草碧皇

(スポーツクライミング・IFSC世界ユース選手権アルコ2019 優勝)

佐藤 駿(フィギュアスケート・2019/2020世界ジュニア

グランプリファイナル 優勝)

オ 奨励賞

園部ゆあら さいたま市立蓮沼小学校

(第42回全国ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会

200m自由形(11-12歳) 他2種目 優勝)

小川 翔慎 埼玉大学附属小学校
 (第41回全国ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会
 200m個人メドレー(10歳以下男子) 他1種目 優勝)

板谷久瑠実 越谷市立平方小学校
 (第42回全国ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会
 50m自由形(10歳以下女子) 他1種目 優勝)

畑 泰成 草加市立氷川小学校
 (2019全国選抜テニスジュニア選手権 U-12 男子シングル 優勝)

新井 伸堯 川越市立新宿小学校
 (第6回全国 UJ ボクシング王座決定戦 43 kg級 優勝)
 (第2回ジュニアチャンピオンリーグ全国大会 42.5 kg級 優勝)

岸 里奈 戸田市スポーツセンター
 (第14回ブロック選抜 U-12 体操競技選手権大会女子個人総合 優勝)

鈴木 勝大 三郷市立新和小学校
 (第36回全国少年少女レスリング選手権大会 5年生 46 kg級 優勝)

青柳 晃正 三郷市立前谷小学校
 (第36回全国少年少女レスリング選手権大会 3年生 30 kg級 優勝)

山北 莉緒 鶴ヶ島市立第二小学校
 長谷川葉月 川島町立中山小学校
 (第28回全国小学生バドミントン選手権大会 5年生女子ダブルス 優勝)

石井 叶夢 久喜市立桜田小学校
 後藤 洸太 さいたま市立西原小学校
 (第18回日本バドミントンジュニアグランプリ 2019 男子団体 優勝)

阿部 果凜 さいたま市立下落合小学校
 伊藤 康乃 坂戸市立坂戸小学校
 八嶋 未来 杉戸町立杉戸小学校
 榎本 紗楓 上尾市立東小学校
 鈴木 日埜 越谷市立西方小学校
 河村 実里 富士見市立水谷小学校
 (第28回全国小学生バドミントン選手権大会
 都道府県対抗戦女子の部 優勝)

林 勇輝 川越市立高階北小学校
 (2019 オールキッズトライアスロン大会 6年生男子の部 優勝)

清水 恵理 さいたま市立大宮東小学校
 (第27回 JOC ジュニアオリンピックカップ武術太極拳大会
 国際第三套路 長拳短器械 女子 優勝)

〔費用〕 賞状・額・栄光旗・栄光楯・会長特別賞トロフィー制作代等

(2) 公益財団法人埼玉県スポーツ協会体育優良児童生徒表彰

〔事業内容〕 県内の小・中・高校の卒業予定の児童・生徒で、よく体育・スポーツを理解・愛好し、平素、熱心にこれらを実践している者のうち、特に健康状

態・運動能力・スポーツマンシップに秀いで学業成績良好にして体育的見地より全校の模範となる者を表彰した。

〔実施会場〕各学校の施設。

〔実施時期〕表彰式は、原則、卒業式で行うこと。

〔被表彰者数〕 表彰者数	男子	女子	合計(学校数)
市町村立・国立・私立小学校	604名	626名	1,230名(646校)
市町村立・県立・国立・私立中学校	415名	418名	833名(429校)
国立・県立・市立・私立高校・特別支援学校	214名	190名	404名(217校)
合計	1,233名	1,234名	2,467名(1,292校)

〔経費〕賞状及び副賞(大野元裕会長の揮毫いりフォトスタンド)

(3)生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰(文部科学大臣)【所属団体】

※本会関係者・団体

ア 生涯スポーツ功労者

古峰 孝 氏【加須市体育協会】

佐藤 和江 氏【埼玉県なぎなた連盟】

林 一夫 氏【公益財団法人さいたま市スポーツ協会】

イ 生涯スポーツ優良団体

スポーツクラブ

特定非営利活動法人ユニオンスポーツクラブ【桶川市】

スポーツクラブ以外

該当無し

10 スポーツ指導者スキルアップ研修会(新規)

〔事業内容〕本県アスリートの競技力向上及び安心・安全なスポーツ活動の推進に向け、スポーツ科学の知見を正しく身に付け、最大限活用できる指導者を養成するとともに競技団体の組織ガバナンスやコンプライアンス等の改善を図り、スポーツ・インテグリティが確保された競技団体の育成に努める研修会を設けることができた。

※第4回については、新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

〔実施期日〕第1回 令和元年5月28日(金)

第2回 令和元年7月3日(水)

第3回 令和2年1月26日(日)

第4回 令和2年3月1日(日)

※第4回は、新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

〔実施会場〕スポーツ総合センター 講堂

〔研修内容〕

第1回 演題 「スポーツ競技団体のガバナンス強化を目指して」

講師 虎ノ門協同法律事務所 弁護士 望月浩一郎 氏

第2回 演題 「楽しみながら基礎体力を向上させるジュニア期のトレーニング」

講師 日本体育大学スポーツ・トレーニングセンター

ヘッドストレンジコーチ 永友 憲治 氏

第3回 演題 「成長期アスリートの土台づくり」

講師 早稲田大学スポーツ科学学院教授 広瀬 統一 氏

【参加者数】第1回：44名 第2回：29名 第3回：30名

〔経 費〕受取参加料無

11 広報・普及活動事業

スポーツ活動の普及・振興のため作成した本会キャッチフレーズ「まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役」の活用や「スポーツ埼玉」の発刊、ホームページからの情報発信、懸垂幕の活用などを行った。

(1) 「スポーツ埼玉」誌の発刊

〔事業概要〕本会広報誌「スポーツ埼玉」は、本県が取り組んでいるスポーツ施策や本会が行った講演やシンポジウムなどを掲載する他、国民体育大会埼玉県選手団の活躍(及び成績)、県内の指導者が進める本、本県の体育・スポーツの発展に人生を捧げた偉人などの紹介と多岐にわたるスポーツ情報の発信をしました。

〔発刊及び作成部数〕年4回 (No.284・No.285・No.286・No.287) 各11,000部

〔主な配布場所〕県歯科医師会会員(県内歯科医院)、県理容組合加盟店、県内ゴルフ練習場、県健康スポーツ医会会員、県内金融機関(埼玉りそな・武蔵野・埼玉縣信用金庫・JAバンク・埼玉)県内各店舗、県内小中高校及び大学、県内公共スポーツ施設、本会にご支援頂いている企業、総合型地域スポーツクラブ、県内公共図書館 等

〔費用〕購入代金等：無料 印刷製本費、通信運搬費

(2) IT 及びホームページの活用と充実

ホームページを活用し、ブログ式による各種情報の提供をはじめ、スポーツ大会やスポーツ活動を撮影した写真提供などの充実を図った。

〔費用〕サーバー管理料(及び一部更新料)

(3) キャッチフレーズの活用

ア 各種諸事業での横断幕の活用

- ・スポーツ総合センターロビーに掲示
- ・埼玉県駅伝競走大会(陸上競技場)に掲示

イ 封筒への刷り込み

ウ スポーツ少年団種目別大会等での明記(掲示)

- ・全ての実施要項等に明記

(4) 懸垂幕の活用

〔主な掲示物〕

- ・スポーツ総合センターの掲示
- ・キャッチフレーズ(まず参加たのしくスポーツみんなが主役)の掲示
- ・埼玉アイスアリーナに関する掲示
- ・スポーツ安全協会に関する掲示

- ・北関東総体 2020 に関する掲示
- 〔費用〕懸垂幕作成代

12 埼玉県立武道館の指定管理

(1)株式会社サイオーとの共同事業体により、県民サービスの向上と日本古来のスポーツである武道の普及・振興を図った。

(2)県立武道館の主催事業について協力・支援を行なった。

〔事業内容〕利用率の向上と、スポーツへの親しみや地域との連携を醸成するため、自主事業の活動を支援した。

ア スポーツフェア 2019

〔実施時期〕令和元年 5 月 12 日(日)

〔実施会場〕埼玉県立武道館(全館)及びスポーツ総合センターアリーナ他

〔参加者〕3,850 名(武道館教室生及び地域住民)

〔経費〕支援：設営等に要した費用の一部負担及び職員の派遣

イ 新春初稽古会

〔実施時期〕令和 2 年 1 月 4 日(土)

〔実施会場〕埼玉県立武道館(全館)

〔参加者〕4 武道団体 494 名(武道館教室生)

ウ 県立武道館「空手道組手講習会」

〔実施期日〕令和元年 10 月 27 日(日)

〔実施会場〕埼玉県立武道館

〔参加者〕156 名

13 スポーツ活動の安全管理

(1)体育・スポーツ協会主催行事にかかる賠償責任保険制度の活用

〔事業概要〕年々、スポーツ傷害やスポーツ事故が増えている中、主催者に対する事故等への賠償責任を問われる判例がでてきており、そうした中、県民のスポーツ活動と市町村体育・スポーツ協会の運営をも安心して取り組める環境を整えるため、本会をはじめ県内全て 63 市町村体育・スポーツ協会に加入した。

なお、競技団体が主催する大会は、本会または市町村体育・スポーツ協会と共催することで対象となる。

また、令和元年度は該当する事故はなかった。

〔保険の概要〕

1. 契約者：公益財団法人埼玉県スポーツ協会
2. 被保険者：公益財団法人埼玉県スポーツ協会ならびに各郡市町村体育・スポーツ協会、加盟競技団体
3. 保険期間：一年間(平成 31 年 4 月 1 日午後 4 時～令和 2 年 4 月 1 日午後 4 時まで)
4. 補償内容：対人対物共通てん補限度額：1 事故 5 億円
免責金額：50 万円
5. 保険金支払の主な場合

- ・落雷が予想される中、競技を継続したため、発生した落雷により参加者が死傷した。
- ・イベントの観客を観客席に誘導するミスにより、観客が将棋倒しになり、観客にけが人が発生した。
- ・イベント中に事故が発生したが、主催者側の過失によりイベントの中断・救助活動が遅れたため、参加者が死傷した。
- ・大会会場の施設に明らかな破損が認められていたにも関わらず、イベントを強行実施したため参加者が死傷した。

(2) スポーツ傷害保険の活用

総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団などの関係者にスポーツ安全協会(傷害保険)の活用を呼びかけ、安心したスポーツ活動の推進を図った。

[主な取組み] 総合型地域スポーツクラブでは、本会のクラブアドバイザーが現地ヒアリング等の時に説明等を行ない、スポーツ少年団では、専門委員会での検討を重ね、指導者現地研修会や種目別代表者会議など指導者が多く集まる会議等でスポーツ傷害保険の活用を呼びかけた。

(3) リスクマネジメントに係る研修会の促進

総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団などの関係者にリスクマネジメントに係る研修会を行い、安心したスポーツ活動の推進を図った。

[主な取組み] 総合型地域スポーツクラブでは、本会のクラブアドバイザーが現地ヒアリング等の時に指導・助言を行ない、スポーツ少年団では、認定員養成講習会・認定員研修会等でのカリキュラムとして行ない、スポーツ活動に携わる関係者に対し、リスクマネジメントの大切さを呼びかけた。

14 指定寄付・賛助会員制度の推進

(1) 一般寄付

[事業内容] 本会、加盟団体、総合型地域スポーツクラブ創設支援クラブ等の指定寄付により、スポーツ団体の活性化を図った。

- ・法人 3 団体(計 5 回)

株式会社サイニチホールディングス(2 回)・株式会社武蔵野銀行(2 回)・埼玉県信用金庫協会

(2) 賛助会制度の充実

[事業内容] 次代を担うジュニア・ユース年代のスポーツ活動の充実は、活力溢れる郷土埼玉や「スポーツ王国埼玉」づくりに最も重要かつ不可欠と確信し、より充実した事業の展開を図るため、本趣旨にご賛同くださる方々を募った。

- ・法人 50 団体

※団体名は令和 2 年 3 月 31 日現在

株式会社埼玉スポーツ・埼玉県野球連盟・埼玉県ソフトテニス連盟・東松山市スポーツ協会・交流みやしろ・公益財団法人埼玉県サッカー協会・(学)稲穂学園いなほ幼稚園・三郷市体育協会・埼玉県弓道連盟・名鉄観光サービス(株)・埼玉県グラウンド・ゴルフ協会・埼玉県なぎなた連盟・吉見町スポーツ協会・埼玉県ゴルフ協会・埼玉県柔道連盟・株式会社サイオー・(公財)埼玉県剣道連盟・(公財)川口市スポー

ツ協会・(公財)新座市体育協会・嵐山町スポーツ協会・埼玉県テニス協会・新越谷整骨院グループ・小鹿野町体育協会・北本市体育協会・(一社)埼玉県バスケットボール協会・埼玉県クレー射撃協会・株式会社丸幸・株式会社サイニチホールディングス・戸田市体育協会・武蔵丘短期大学・深谷市体育協会・白岡市体育協会・長瀬町体育協会・越谷市体育協会・公益財団法人草加市体育協会・株式会社埼玉新聞社・一般財団法人埼玉陸上競技協会・大蔵屋商事株式会社・小川町スポーツ協会・公益財団法人さいたま市スポーツ協会・埼玉県スケート連盟・埼玉県近代五種バイアスロン連合・株式会社アールはっとり鍼灸接骨院・有限会社クマガヤスポーツ・川島町スポーツ協会・公益財団法人熊谷市体育協会・滑川町スポーツ協会・

匿名希望法人 4

・個人 68名

宮内孝知・田中耕三・横瀬元応・野中常七郎・小山吉男・森田進一・松原 誠・山下誠二・永井一博・大保木輝雄・青葉元由紀・保科征男・林 一夫・小林正幸・棚沢絹江・藤沼貞夫・田村和夫・田中 稔・田中靖男・小林伸子・中田次夫・小原敏彦・加賀谷貴彦・岩崎文雄・中田善雄・永嶋龍次・堀部武男・今中隆雄・小原征男・野口英夫・足立 達・本橋民夫・高橋順一・山下 實・中山和義・小林柊吾・小林悠斗・遠井 学・石倉昭一・小川 貴・帆足光代・帆足和之・岡田謙司・河本弘・岩澤正明・新井 彰・前之園晴廣・北 清治・櫻井勝利・柿原順子・尾崎豊・油井正幸・久保正美・岡野進一・増田 優・数野裕之・忍田壽生・上羅 廣・石田明男・岩上俊哉・福田和仁・青葉昌幸・三戸一嘉・蓮見 仁・匿名希望者 5

15 スポーツ教室の開催

〔事業内容〕 埼玉アイスアリーナを活用し、氷上スポーツの普及と強化を図る。

(1) アイスホッケー体験教室

〔実施期日〕 平成 31 年 4 月～令和元年 6 月(13 回)・令和元年 7 月～9 月 (9 回)
計 2 コース

〔実施会場〕 埼玉アイスアリーナ

〔参加者数〕 延べ 83 名

〔受取参加料〕 1 名 5,000 円(1 コース)

(2) 団体利用者スケート教室

〔実施期日〕 平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月

〔実施会場〕 埼玉アイスアリーナ

〔参加者数〕 3 事業 (大人 49 名 子ども 86 名 計 135 名)

〔受取参加料〕 無料 ※滑走料は受益者負担。

(3) アイスホッケー体験教室(校外教室)

〔実施期日〕 令和元年 5 月～12 月

〔実施会場〕 埼玉アイスアリーナ

〔参加者数〕 3 校 8 教室延べ 756 名

〔受取参加料〕 無料 ※滑走料は受益者負担

【事業実施のための財源】

各事業の受取参加料は、無料または受益者負担の実費や相当額であり事業収益はありませんので、基本財産等の運用益、県費補助金等の補助金収入、加盟団体からの負担金収入、寄付金等を財源としています。

【事業に必要な主な資産】

本事業を実施するために、埼玉県から無償貸付のスポーツ総合センター各施設及び本会所有の体育関係の測定機器(体力測定)が必要となります。

公益2 競技力向上事業

◆競技力向上事業

1 国民体育大会

(1) 埼玉県予選会の実施

〔事業内容〕国民体育大会に参加する競技団体に対して公正で公開された選考会の運営を指導・監督した。

(2) 関東ブロック大会選手団の編成及び派遣

〔事業内容〕各競技の予選会を経て選ばれた選手で選手団を編成し、第74回国民体育大会・第75回国民体育大会冬季大会関東ブロック大会に派遣をした。

〔競技会場〕千葉県(アイスホッケー：群馬県)

〔実施期日〕令和元年8月(各競技により日程が異なる)

〔派遣人数〕32競技 監督・選手782名

(3) 第74回国民体育大会<陸上競技含む37競技>

〔競技会場〕茨城県ひたちなか市他33市町村

〔実施期日〕令和元年9月7日(土)～17日(月)(水泳、バレーボール・ビーチバレーボール、体操)

令和元年9月28日(土)～10月8日(火)

〔参加人数〕役員・監督・選手597名

〔成績〕天皇杯 第4位 1,735点

◎競技別天皇杯獲得団体 4競技団体

皇后杯 第4位 997.5点

(4) 第75回国民体育大会

ア スケート・アイスホッケー競技会

〔競技会場〕青森県八戸市他3市町

〔実施期日〕令和2年1月29日(水)～2月2日(日)

〔参加人数〕役員・監督・選手66名

イ スキー競技会

〔競技会場〕富山市南砺市他2市

〔実施期日〕令和2年2月16日(日)～19日(水)

〔参加人数〕役員・監督・選手37名

(5) 第74回国民体育大会表彰式

〔実施期日〕令和元年11月15日(金)

〔実施会場〕 埼玉会館

〔参加者数〕 第 74 回国民体育大会入賞者及びその関係団体・関係者約 250 名

〔成績〕 競技別天皇杯獲得団体(2 競技団体)

・ 埼玉県テニス協会・埼玉県ライフル射撃協会

入賞者総数：399 名

第 1 位	58 名	第 2 位	69 名	第 3 位	43 名
第 4 位	88 名	第 5 位	65 名	第 6 位	14 名
第 7 位	48 名	第 8 位	14 名		

(6) 国民体育大会功労賞特別表彰(公益財団法人日本スポーツ協会)

令和元年度 本県該当者無

2 第 1 期別強化訓練事業〔助成(補助)事業〕

〔助成内容〕 国民体育大会での活躍を期するため、次の強化事業について助成(補助)した。

(1) 本大会強化訓練事業(37 競技)

競技力の向上とスポーツマンシップの下に、フェアプレイ精神の高揚を図り埼玉県を代表するに相応しい選手の育成・強化を図った。

(2) 直前強化訓練事業(35 競技)

国民体育大会をはじめ国内外の競技大会で活躍できる選手を対象に、より厳しい環境の中で実践的な強化訓練をし、世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成した。

〔助成対象経費〕

合宿や強化訓練にかかる、指導者謝金・交通費・宿泊費・消耗品・借損料・通信運搬費・雑費の費用を、予算の範囲内で補助。

〔助成団体〕 37 競技(陸上競技・水泳・サッカー・テニス・ボート・ホッケー・ボクシング・バレーボール・体操・バスケットボール・レスリング・セーリング・ウエイトリフティング・ハンドボール・自転車・ソフトテニス・卓球・野球・相撲・馬術・フェンシング・柔道・ソフトボール・バドミントン・弓道・ライフル射撃・剣道・ラグビーフットボール・山岳・カヌー・アーチェリー・空手道・クレー射撃・なぎなた・ボウリング・ゴルフ・トライアスロン) 約 3,000 名

〔助成金額〕 40,000,000 円

〔助成事業の対象期間〕

本大会強化訓練事業：競技団体毎に 4 月から 8 月の祝祭日を中心に実施。

直前強化訓練事業：出場権獲得後から競技会開始まで。

〔助成事業の開催場所〕 当センターのスポーツ施設他、公共施設・学校体育施設等

3 第 2 期別強化訓練事業〔助成(補助)事業〕

〔助成内容〕 本大会で達成できなかった課題を精査し、第 75 回国民体育大会に向けて新たな戦力(選手)の発掘と育成を行った。

〔助成対象経費〕 合宿や強化訓練にかかる、指導者謝金・交通費・宿泊費・消耗品・借損料・通信運搬費・雑費の費用を、予算の範囲内で補助。

〔助成団体〕 11 団体(水泳・テニス・ボート・体操・レスリング・ハンドボール・柔道・ライフル射撃・ラグビーフットボール・山岳・スポーツクライミング・ゴルフ)約 200 名

〔助成金額〕 1,700,000 円

〔助成事業の対象期間等〕 競技団体毎に 10 月から翌年 3 月。祝祭日を中心に実施。

〔助成事業の開催場所〕 当センターのスポーツ施設他、公共施設・学校体育施設等

4 スポーツ環境整備事業

(1) 冬季競技重点施策〔助成(補助)事業〕

〔助成内容〕 強化訓練会場(施設)の無い冬季競技に対し、強化訓練に不可欠なスポーツ活動の会場を確保し強化を図った。

〔助成対象経費〕 合宿や強化訓練にかかる、指導者謝金・交通費・宿泊費・消耗品・借損料・通信運搬費・雑費の費用を、予算の範囲で補助。

〔助成金額〕 補助金の算出は、エントリー数と実績や活躍度を数値化し、予算の範囲内で配分しています。

〔助成団体〕 冬季 3 競技(スケート・アイスホッケー・スキー) 約 120 名

〔助成事業の対象期間〕 各競技団体毎に 4 月から翌年 3 月の祝祭日を中心に実施。

〔助成事業の開催場所〕

スケート：埼玉アイスアリーナ、軽井沢スケートリンク、Mウエーブ 他

アイスホッケー：埼玉アイスアリーナ

スキー：菅平高原スキー場、八幡平スキー場 他

〔助成金額〕 7,000,000 円

5 支援スタッフサポート事業

(1) 医学サポートスタッフ派遣事業〔助成(補助)事業〕

〔助成内容〕 国民体育大会に出場するチームに、スポーツドクターやトレーナーを帯同させる費用を助成(補助)致し、次のことを行なった。

ア スポーツを行う上で課題となってきたドーピングコントロールとスポーツ傷害の防止に努めた。

イ 誤飲によるドーピングの防止や啓発に努めるとともに、スポーツ傷害の処置並びにメンタル的サポートを行なった。

〔助成対象経費〕 派遣(帯同)にかかる、交通費、宿泊費。

〔助成対象者〕 15 競技 18 名：派遣対象候補者で、競技団体から申告のあった者の中から本会会長が決定。

(2) 競技別支援スタッフの派遣

〔助成内容〕 国民体育大会において本県選手団が安心して競技会に臨める環境を整えるため、競技団体から推薦されたコーチやアタッシュなどを、埼玉県選手団の支援スタッフに委嘱し、派遣にかかる費用を助成(補助)した。

〔助成対象経費〕 派遣にかかる旅費交通費の一部を補助。

〔助成対象者〕 国民体育大会(冬季・本大会)に出場する競技団体から推薦のあった者。

各団体1名(但し、活躍が見込める団体は2名まで認める)

ア 会長指名派遣：16 競技 17 名(本大会 16 名・冬季大会 1 名)

イ 支援スタッフ派遣者：31 競技 38 名(本大会 34 名・冬季大会 4 名)

ウ 競技団体負担派遣者：18 競技 60 名(派遣にかかる費用は競技団体負担)

6 競技団体指定クラブ強化事業〔助成(補助)事業〕

〔助成内容〕国民体育大会をはじめ、全国規模の大会や選手権大会などで優秀な成績を収めた選手を輩出しているクラブまたは今後期待されるクラブの選手強化事業に対して助成(補助)した。

〔助成対象経費〕合宿や強化訓練にかかる、指導者謝金・交通費・宿泊費・消耗品費・借損料・通信運搬費・雑費の費用を、予算の範囲内で補助した。

〔助成事業の開催期日〕 通年

〔助成事業の開催場所〕 各クラブが利用している施設。

〔助成団体〕 27 競技 57 クラブ(陸上 2・水泳 10・テニス 2・ボート 1・ホッケー 4・ボクシング 1・バレーボール 1・体操競技 3・バスケットボール 1・レスリング 3・ソフトテニス 1・卓球 2・野球 4・相撲 1・馬術 6・フェンシング 1・柔道 1・ソフトボール 1・バドミントン 1・山岳・スポーツクライミング 4・カヌー 1・アーチェリー 1・なぎなた 1・スケート 1・アイスホッケー 1・スキー 1・トライアスロン 1) 約 700 名

〔助成金額〕 3,750,000 円

7 ジュニア育成補助事業

(1) 彩の国ジュニアアスリートアカデミー事業〔助成(補助)事業〕

〔助成内容〕各競技団体と連携して、定期的・継続的な一貫指導によるトレーニングを実施し、県内の優秀なジュニア選手を早期に発掘し、彩の国アスリートの育成を図る事業に対して助成(補助)致した。

〔助成対象経費〕指導者謝金・会場及び機材の借上げ料・連絡通信費・印刷製本費・消耗品費・雑費

〔助成団体〕 36 競技 3,800 名

〔開催期日〕概ね月一回で年 10 回以上。トレーニングは一回あたり 2 時間を上限とし、一日あたり 5 時間を超えないものとした。

〔助成金額〕 14,670,000 円

(2) タレント発掘育成事業【委託】(彩の国 PlatinumKids 発掘育成事業)

〔事業内容〕県内の小学 4 年生を対象に、体力・運動能力が特に優れた子供達を発掘、29・30 年度に認定した 5・6 年生と合わせ育成することが出来た。また、各競技団体から選考された選手が参加する「彩の国ジュニアアスリートの国ジュニアアスリートアカデミー事業」、「中体連・高体連強化対策事業」との連携を図り、ジュニア強化対策合同会議を開催し、ジュニア層の一貫指導体制の推進に取り組んだ。

ア ジュニア強化対策合同会議

開催期日：令和元年12月4日(水) 会場：スポーツ総合センター

イ 彩の国PlatinumKids発掘育成事業

募集：4月下旬、県内4年生を対象に県内全ての小学校に(学校を通じて)募集パンフレットを配布。

申込期間：平成31年4月19日(金)から令和元年5月10日(金)

選考：第1ステージ選考会 令和元年5月25日(土)・26日(日)

第2ステージ選考会 令和元年6月9日(日)

応募者数：1,049名

新認定者：4年生30名

育成プログラム

平成31年4月20日(土)から令和2年3月14日(土)計16回

[主な内容] 身体能力開発プログラム、アスリート教育プログラム、
競技体験プログラム(15競技、47回以上実施、のべ400名が参加)、競技
体験プログラム(15競技 延べ46回以上実施、400名参加)体力測定(12

月

14、15日)

[参加者] 令和元年度認定者89名(4年生:30名、5年生:29名、6年生:30名)

8 中・高体連育成強化事業の実施〔助成(補助)事業〕

[助成内容] 中・高校の連携により有望選手の早期発掘と県内定着を図り、世界に羽ばたく彩の国アスリートの登竜門である、全国中学校体育大会や全国高等学校総合体育大会をとおして世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成した。

[助成対象経費] 合宿や強化訓練にかかる、指導者謝金・交通費・宿泊費・消耗品・借損料・通信運搬費・雑費の費用を、予算の範囲内で補助した。

[助成事業の開催期日] 4月から7月の祝祭日を中心に実施した。(中学生においては8月上旬まで)

[助成事業の開催場所] 当センターのスポーツ施設他、公共施設・学校体育施設等

[助成対象団体] 埼玉県高等学校体育連盟・埼玉県中学校体育連盟

[助成金額] 8,600,000円

[成績]

(1) 令和元年度全国高等学校総合体育大会成績(冬季含む)

◎団体	優勝	準優勝	3・4位	ベスト8	合計
男子	0団体	1団体	6団体	6団体	13団体
女子	1団体	3団体	4団体	3団体	11団体
◎個人	優勝	準優勝	3・4位	ベスト8	合計
男子	6名	3名	12名	27名	48名
女子	5名	9名	13名	17名	44名

(2) 令和元年度全国中学校体育大会成績(冬季含む)

◎団体	優 勝	準優勝	3・4位	ベスト8	合 計
男子	2団体	0団体	1団体	4団体	7団体
女子	0団体	1団体	2団体	2団体	5団体
◎個人	優 勝	準優勝	3・4位	ベスト8	合 計
男子	4名	5名	6名	14名	29名
女子	2名	5名	6名	20名	33名

9 埼玉県国民体育大会候補選手強化特別委員の委嘱

〔事業内容〕埼玉県と連携・協力し、当該年度の国体候補選手、監督、指導者の所属する高等学校長及び中学校体育連盟会長を強化特別委員として委嘱し、選手の練習環境を整え、より一層の競技力向上を図った。

〔特別委員会〕令和元年6月5日(水)

〔実施会場〕県民健康センター

〔委員の委嘱〕80名

〔費用〕会場使用料及び当日の会議参加者旅費交通費

10 埼玉県強化コーチ研修会兼国民体育大会必勝対策会議の開催

(1) 埼玉県強化コーチ研修会

〔事業内容〕各競技団体における競技力向上に関する担当指導者及び国民体育大会監督候補者を対象に、トレーニングや技術指導等に関する諸問題について研修を行うとともに、第74回国民体育大会本大会『茨城ゆめ国体』での必勝体制の確立を図った。

〔実施時期〕令和元年7月3日(水)

〔実施会場〕スポーツ総合センター 講堂及び各研修室

〔参加人数〕国民体育大会実施40競技団体選手強化関係者108名

〔講演内容〕『ドーピング防止研修会』

高橋 邦泰 氏(介護老人保健施設 七里施設長)

〔経 費〕受取参加料：無料 講師謝金

(2) 国民体育大会必勝対策会議

〔事業内容〕第74回国民体育大会関東ブロック大会突破の見通しと本大会での入賞予想及び各競技団体の戦力状況と強化策について確認、分析した。

分科会：・本大会及び関東ブロック大会に向けた各競技の戦力予想。

・ライバル県の戦力分析と各競技団体における強化策及び情報交換。

・本大会申し込み

・アンチ・ドーピング対策

・監督資格について

〔実施時期〕令和元年7月3日(水)

〔実施会場〕スポーツ総合センター 講堂及び各研修室

〔参加人数〕 国民体育大会実施 40 競技団体選手強化関係者 108 名
※埼玉県強化コーチ研修会と同時開催

11 埼玉スポーツの未来を考えるシンポジウム(旧競技団体長・支援企業等協議会)

〔事業内容〕 本県の競技力を支える支援企業・大学等と競技団体関係者が一堂に会し、
更なる競技力向上のため相互に連携し協力体制が確立できるよう図った。

〔実施時期〕 令和 2 年 1 月 10 日(金)

〔実施会場〕 ロイヤルパインズホテル浦和

〔参加者〕 支援企業・大学 33 名、競技団体及び本会役員等 50 名 計 83 名

〔受取参加料〕 一人 8,000 円(懇親会費)

12 埼玉県スポーツ指導者研修会

(1) 第 1 回埼玉県スポーツ指導者研修会(旧ビクトリーサミット)

〔事業内容〕 長年培った選手育成のノウハウとスポーツ科学に基づく競技力向上を図る
ための研修会を実施する。

〔実施時期〕 令和元年 12 月 1 日(日)

〔実施会場〕 スポーツ総合センター 講堂

〔参加者〕 JSP0 公認スポーツ指導者 116 名 スポーツ科学委員会 6 名 計 122 名

〔研修内容〕 講義 I 『スポーツ中に命を落とさないために』

～～スポーツドクター(内科)の立場から～～

講師：福島理文 氏(順天堂大学医学部循環器内科助教)

講義 II 『スポーツトレーニングの科学』

～～スポーツ指導者の立場から～～

講師：有川 秀之 氏(埼玉大学教育学部教授)

(2) 第 2 回埼玉県スポーツ指導者研修会

〔事業内容〕 公認スポーツ指導者及び競技団体強化担当指導者の資質の向上と活動の促
進を図る研修会を実施する。(公認スポーツ指導者制度に基づいた義務研修)

〔実施時期〕 令和 2 年 2 月 22 日(土)

〔実施会場〕 埼玉県県民活動総合センター(伊奈町)

〔参加者〕 185 名

〔研修内容〕 講演 I 『スポーツ選手のメンタルコンディショニング』

～実力発揮のために～

講師 須田 和也 氏(共栄大学教育学部教授)

講演 II 『ジュニア選手の育成、日本とアメリカのコーチングの違い』

～海外での指導経験から～

講師 松永 敏 氏(平成国際大学スポーツ健康学部教授)

〔経 費〕 受取参加料：1,000 円

13 競技別義務研修〔助成(補助)事業〕

〔助成内容〕 埼玉県内の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者で組織する、埼玉県スポ

ーツ指導者と連携し、協議会登録指導者を対象に、競技特性に応じた日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の義務研修を開催開催するための費用を助成(補助)しました。

〔助成対象経費〕 研修会にかかる講師謝金・会場借上げ料・通信運搬費

〔助成金額〕 定額 50,000 円

〔助成団体〕 埼玉県スポーツ指導者協議会の指導者協議会 8 団体 8 コース

〔参加者総数〕 285 名

14 国際競技派遣事業〔助成(補助)事業〕

〔助成内容〕 本県競技団体所属の選手が、日本を代表して国際大会に出場する際の経費について、定額補助を行った。

〔助成金額〕 一人 10,000 円(オリンピック競技会出場者は 20,000 円)

〔助成対象〕 5 競技 24 名(陸上競技 4 名・水泳 8 名・ボクシング 4 名・バドミントン 7 名・ゴルフ 1 名)

15 埼玉県選手強化対策委員会要覧及びコーチのしおりの作成

〔事業内容〕 国民体育大会本大会の強化事業に係わる、埼玉県選手強化基本方針や第 73 回国民体育大会強化基本計画等を取り纏めた。また、国民体育大会本大会終了後には、今後の強化事業に役立てるため、大会の成果(成績)や結果を分析したデータを取り纏めた。

(1) 選手強化対策委員会要覧

〔発刊時期〕 令和元年 7 月

〔配布先〕 47 競技団体及び教育関係機関

〔費用〕 印刷製本費

(2) スポーツ科学委員会会報

〔発刊時期〕 令和元年 5 月

〔配布先〕 加盟団体・科学委員会委員

〔費用〕 印刷製本費

(3) コーチのしおり

〔発刊時期〕 令和 2 年 3 月

〔配布先〕 47 競技団体及び教育関係機関

〔費用〕 印刷製本費

16 スポーツ科学研究事業

〔内容〕 スポーツを医学的・科学的・コーチング・アンチ・ドーピングの見地から研究し、競技力の向上と県民の健康の増進と生涯スポーツの振興を図った。

(1) アンチ・ドーピング教育啓発事業

〔事業内容〕 高等学校総合体育大会及び国民体育大会結団式並びに国民体育大会選手選考会議・各種研修等(彩の国ジュニアアスリートアカデミーとタレント発掘事業)においてアンチ・ドーピング教育・啓発研修を実施した。

〔実施時期〕 国民体育大会必勝対策会議：令和元年7月3日(水)
高校総体結団式：令和元年7月10日(水)
国民体育大会選考会議：令和元年9月3日(火)
国民体育大会結団式・壮行会：令和元年9月19日(木)
アンチ・ドーピングホットライン：通年

〔実施会場〕 国民体育大会必勝対策会議：スポーツ総合センター 講堂
高校総体結団式：埼玉会館
国民体育大会選考会議：スポーツ総合センター 講堂
国民体育大会結団式：埼玉会館
アンチ・ドーピングホットライン：通年

〔参加者〕 コーチ研修会：国民体育大会実施40競技団体選手強化関係者108名
高校総体結団式：インターハイ出場選手・関係者約800名
国民体育大会選考会議：競技団体役員・監督約120名
国民体育大会結団式：本大会出場選手・監督約400名
アンチ・ドーピングホットライン：問い合わせ件数80件(延べ242品目)

〔経費〕 講師謝金：1会場1名6,000円

(2) スポーツ医・科学相談事業(旧 Platinumkids メディカルチェック・体力測定)

〔実施内容〕 Platinumkids(小学4年生)に対して、メディカルチェックを実施した

〔実施時期〕 Platinumkids(小学4年生) 令和元年6月22日(土)

〔実施会場〕 スポーツ総合センター 測定室・体育実習室・アリーナ

〔参加者〕 Platinumkids(小学4年生) 28名

(3) 国体選手(彩の国アスリート)の健康管理事業

〔実施時期〕 配布：令和元年7月 回収：令和元年8月(候補選手確定まで)

〔実施会場〕 国民体育大会埼玉県選手候補の問診票：本会で回収、ドクター及び薬剤師
が所見

〔参加者〕 国民体育大会埼玉県選手候補

〔経費〕 無料

(4) 国民体育大会帯同ドクター派遣

〔事業内容〕 ドーピングコントロールとスポーツ障害の防止を図るため、スポーツドク
ターを本部役員として選手団に帯同させ、ドーピングの防止に努めた。

また、選手・監督の要請を受け、スポーツ傷害の防止並びにメンタル的サ
ポートを行なった。

※帯同ドクターは、日本スポーツ協会が定めた選手団編成基準の役員に位
置付けられている。

〔実施時期〕 令和元年9月12日(木)～16日(日)(水泳競技他)

令和元年9月27日(金)～10月7日(月)

令和2年1月30日(木)～2日(日)(スケート・アイスホッケー競技)

令和2年2月16日(日)～18日(火)(スキー競技)

〔実施会場〕 第74回国民体育大会：会期前競技・本大会 茨城県

第75回国民体育大会：冬大会 青森県・富山県

〔参加者〕第74回国民体育大会：会期前競技1名・本大会3名

第75回国民体育大会：冬大会 2名

〔経費〕ドクターの派遣にかかる旅費交通費、謝金

(5)研修会・講習会の開催

ア トレーナー研修会の開催

〔事業内容〕国民体育大会におけるトレーナーの役割等について互いの共通理解を深めるとともに、技量及び資質向上を図った。

(ア)第1回

〔実施時期〕令和元年9月5日(木)

〔実施会場〕県民健康センター

〔研修内容〕「育成年代のコンディショニングの取り組み」

講師：並木 磨去光 氏(公益財団法人日本サッカー協会アスレティックトレーナーサポート担当：現在ビーチ代表担当、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、鍼灸あん摩マッサージ師)

〔参加者〕29名

〔経費〕受取参加料：無料 講師謝金：10,000円

(イ)第2回

新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

イ コーチングセミナー

〔助成内容〕国内外で活躍の期待できるトップアスリートの育成を図るため、本会で指定した競技の日本国内でトップレベルの指導者を招き、講演や実技指導、また、それらに関するディスカッション等を行い、指導者の資質向上を図った。

〔実施時期〕令和2年1月26日(日)

〔実施会場〕スポーツ総合センター 講堂

〔参加者〕加盟競技団体 理事長、強化委員長、国体監督・コーチ、選手、スポーツ科学委員会 等 計 30名

〔研修内容〕演題『成長期アスリートの土台づくり』

～心、頭、体の土台づくりの重要性について～

講師：広瀬 統一 氏(早稲田大学スポーツ科学学術院教授)

〔金額〕50,000円(講師謝金)

17 スポーツ科学による支援事業

〔支援内容〕2020年東京オリンピックを見据え、世界に羽ばたく彩の国アスリートの中から、オリンピック出場が期待できる強化指定選手(彩の国ドリームアスリート)60名に対し、スポーツ科学の知見に基づくトレーニング指導、栄養指導及びメンタル指導、女性アスリートサポートを行い、競技力向上を総合的に支援した。

(1)専門スタッフの配置

- ア スポーツトレーナー 2名
- イ 管理栄養士 1名
- ウ メンタルトレーナー 1名
- エ 女性医学サポート担当 1名

(2) 競技力向上のサポート

県内スポーツ系大学との連携を図り、身体能力測定・分析を基に、専門スタッフが、監督・コーチと一体となりトレーニングメニューを定期的に提供し、強化を図った。

ア 身体能力測定・分析

〔実施時期〕 令和元年8月～令和2年2月 延べ 14回

〔測定者数〕 25名(12競技)

イ トレーニング指導(身体能力測定フィードバック含む)

〔実施時期〕 平成31年4月～令和2年3月 延べ 83回

〔実施人数〕 26名(12競技)

ウ 栄養指導

〔実施時期〕 平成31年4月～令和2年3月 延べ 51回

〔実施人数〕 8名(7競技)

エ メンタル指導

〔実施時期〕 平成31年4月～令和2年3月 延べ 0回

〔実施人数〕 0名(0競技)

オ 女性アスリートサポート

〔実施時期〕 平成31年4月～令和2年3月 延べ 11回

〔実施人数〕 5名(4競技)

18 公益財団法人日本スポーツ協会委託事業の実施

(ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト)

〔事業内容〕 (公財)日本スポーツ協会が中心となり、将来性の豊かな地域のスポーツタレント又はアスリートから、メダル獲得の潜在能力を有するメダルポテンシャルアスリートとなり得る人材を全国から発掘し、活動拠点県(以下「拠点県」)で合宿等のトレーニングにより、中央競技団体の強化育成コースに導くもので、本会では、そのうちのボート競技の拠点県として、埼玉県ボート協会と連携し、本県のボート競技のより一層の競技力の向上を図った。

(1) 実行委員会の設置・運営

〔実行委員〕 公益財団法人日本ボート協会強化スタッフ・埼玉県ボート協会強化スタッフ・公益財団法人日本スポーツ協会関係職員・公益財団法人埼玉県スポーツ協会関係役職員

ア 第1回実行委員会 令和元年6月20日(木) 戸田公園管理事務所

イ 第2回実行委員会 令和元年10月23日(火) 戸田公園管理事務所

(2) 合宿

- ア 4月育成合宿(実技指導)
 期日：平成31年4月19日(金)～22日(月)
 会場：戸田ボートコース 参加者数：7名
- イ 5月育成合宿(実技指導)
 期日：令和元年5月17日(金)～20日(月)
 会場：戸田ボートコース 参加者数：6名
- ウ 6月育成合宿(実技指導)
 期日：令和元年5月30日(木)～6月2日(日)
 会場：久々子漕艇場(福井県) 参加者数：11名
- エ 7月育成合宿(実技指導)
 期日：令和元年7月23日(火)～28日(日)
 会場：戸田ボートコース 参加者数：9名
- オ 8月育成合宿(実技指導)
 期日：令和元年8月6日(火)～11日(日)
 会場：戸田ボートコース 参加者数：9名
- カ 9月第1回育成合宿(実技指導)
 期日：令和元年9月14日(土)～17日(火)
 会場：戸田ボートコース 参加者数：5名
- キ 9月第2回育成合宿(実技指導)
 期日：令和元年9月20日(金)～23日(月)
 会場：戸田ボートコース 参加者数：7名
- ク 10月育成合宿(フィットネスチェック・実技指導)
 期日：令和元年10月18日(金)～21日(月)
 会場：戸田ボートコース他 参加者数：13名

公益3 スポーツ少年団事業

1 令和元年度埼玉県スポーツ少年団登録状況

(1) 団数	更新	1,558 団	新規	25 団	合計	1,583 団
(2) 指導者	更新	15,100 名	新規	2,385 名	合計	17,485 名
(3) 団員	男子	33,676 名	女子	11,973 名	合計	45,649 名

2 埼玉県スポーツ少年団大会の開催

(1) 埼玉県スポーツ少年団種目別大会の開催

〔事業内容〕日々のスポーツ活動で学んだルールや技術、それらを習得する過程で得られるマナーやモラルを実践する場を作るとともに、合せて子ども達の指導にあたる者たちの資質の向上を図った。

ア 軟式野球

第38回夏季小学生軟式野球交流大会

〔実施時期〕 令和元年 6 月 2 日(日)・9 日(日)・16 日(日)

〔実施会場〕 そうか公園多目的広場 他

〔参加団数〕 357 団

第 44 回小学生軟式野球交流大会

〔実施時期〕 令和元年 10 月 13 日(日)・20 日(日)・27 日(日)

〔実施会場〕 県営大宮球場 他

〔参加団数〕 357 団

第 42 回中学生軟式野球交流大会

〔実施時期〕 令和元年 7 月 28 日(日)・8 月 3 日(土)・4 日(日)

〔実施会場〕 秩父市別所運動公園野球場

〔参加団数〕 40 団

第 15 回女子団員交流大会

〔実施時期〕 令和元年 1 1 月 9 日(土)・2 3 日(土)

〔実施会場〕 加須きずなスタジアム 他

〔参加団数〕 50 団

イ サッカー

第 48 回埼玉県サッカー少年団大会

〔実施時期〕 令和 2 年 1 月 12 日(日)・19 日(日)・2 月 2 日(日)

〔実施会場〕 埼玉スタジアム 2002(第 2、第 3 グラウンド)他

〔参加団数〕 418 団

第 4 回埼玉県スポーツ少年団 U-10 サッカー大会

〔実施時期〕 令和元年 12 月 1 日(日)・22 日(日)

〔実施会場〕 新座陸上競技場 他

〔参加団数〕 375 団

ウ バスケットボール

第 38 回ミニバスケットボール交流大会

〔実施時期〕 令和元年 7 月 6 日(土)・7 月 7 日(日)

〔実施会場〕 川越運動公園総合体育館

〔参加団数〕 330 団

第 19 回ジュニアリーダーバスケットボール交流大会

〔実施時期〕 令和元年 8 月 4 日(日)

〔実施会場〕 深谷ビクタートル

〔参加団数〕 40 団

エ バレーボール

第 38 回関東ブロックスポーツ少年団バレーボール大会埼玉県大会

〔実施期日〕 平成 30 年 6 月 24 日(日)・7 月 1 日(日)

〔実施会場〕 玉川トレーニングセンター 他

〔参加団数〕 133 団

第 14 回埼玉県スポーツ少年団キッズ交流大会

〔実施時期〕 平成 30 年 8 月 11 日(土)・12 日(日)

〔実施会場〕熊谷スポーツ文化公園体育館 他

〔参加団数〕50 団

第 16 回埼玉県スポーツ少年団中学生交流大会

〔実施時期〕平成 30 年 8 月 26 日(日)

〔実施会場〕熊谷スポーツ・文化村クマピア

〔参加団数〕30 団

第 17 回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会埼玉県決勝大会

〔実施期日〕平成 30 年 12 月 16 日(日)・22 日(土)

〔実施会場〕北本市体育センター他

〔参加団数〕133 団

第 7 回埼玉県スポーツ少年団混合大会

〔実施期日〕平成 31 年 2 月 24 日(日)

〔実施会場〕熊谷スポーツ文化公園体育館

〔参加団数〕30 団

オ 剣 道

第 43 回埼玉県スポーツ少年団剣道交流大会

〔実施期日〕令和元年 8 月 25 日(日)

〔実施会場〕戸田市スポーツセンター

〔参加団数〕53 団

第 42 回全国スポーツ少年団剣道交流大会選手選考会

〔実施会場〕令和元年 12 月 8 日(日)

〔実施会場〕熊谷スポーツ文化公園

〔参加団数〕53 団

カ ソフトボール

第 42 回ソフトボール中央大会

〔実施期日〕男子：平成 30 年 7 月 28 日(土)・8 月 11 日(日)

女子：平成 30 年 8 月 25 日(土)・26 日(日)

〔実施会場〕男子：さいたま市 荒川総合運動公園グラウンド

女子：北本市スポーツセンター

〔参加団数〕33 団

キ 空手道

第 35 回空手道交流大会

〔実施期日〕令和元年 9 月 8 日(日)

〔実施会場〕埼玉県立武道館

〔参加団数〕63 団

ク 柔 道

第 41 回埼玉県スポーツ少年団柔道親善大会

〔実施期日〕令和元年 8 月 25 日(日)

〔実施会場〕埼玉県立武道館

〔参加団数〕33 団

ケ バドミントン

第 38 回埼玉県スポーツ少年団バドミントン大会(団体戦)

〔実施期日〕 令和元年 12 月 15 日(日)

〔実施会場〕 毎日興行アリーナ久喜(久喜市総合体育館第一体育館)

〔参加団数〕 29 団

第 26 回埼玉県スポーツ少年団バドミントン大会(個人戦)

〔実施期日〕 令和 2 年 2 月 22 日(土)

〔実施会場〕 蓮田市総合体育館

〔参加団数〕 29 団

コ ソフトテニス

第 40 回埼玉県スポーツ少年団ソフトテニス交流大会

小学生

〔実施期日〕 令和元年 8 月 4 日(日)

〔実施会場〕 くまがやドーム多目的運動場

〔参加団数〕 33 団

中学生

〔実施期日〕 令和元年 8 月 10 日(土)

〔実施会場〕 熊谷さくら運動公園

〔参加団数〕 20 団

第 6 回交流団体戦

〔実施期日〕 令和 2 年 2 月 16 日(日)

〔実施会場〕 くまがやドーム多目的運動場

〔参加団数〕 33 団

サ 復 合

第 39 回複合種目大会

〔実施期日〕 令和元年 8 月 31 日(土)・9 月 1 日(日)

〔実施会場〕 大鳩円キャンプ場 他

〔参加団数〕 15 団

シ 駅 伝

第 37 回埼玉県スポーツ少年団駅伝競走大会

〔実施期日〕 令和 2 年 2 月 11 日(祝)

〔実施会場〕 熊谷スポーツ文化公園

〔参加団数〕 56 団

ス 体 操

第 9 回埼玉県スポーツ少年団体操競技交流大会

〔実施期日〕 令和元年 10 月 6 日(日)

〔実施会場〕 川越運動公園総合体育館

〔参加団数〕 13 団

(2) 東日本大震災復興祈念スポーツ交流事業

〔事業内容〕 東日本大震災後、自由に外遊びやスポーツ活動をする事ができない福島県

の子供たちを本県に招き、スポーツや外遊びを通して本県スポーツ少年団団員との相互理解や交流を深めることで、次代を担う青少年の育成をすることが出来ました。

〔実施期日〕 令和元年8月9日(金)～11日(日) 2泊3日

〔実施会場〕 スポーツ総合センター

〔参加者〕 福島県スポーツ少年団 11団62名 スタッフ6名
埼玉県スポーツ少年団 9団73名 スタッフ14名

〔費用〕 宿泊費・旅費交通費(バス代)は本県で負担。

3 第46回日独スポーツ少年団同時交流事業

〔事業内容〕 日本スポーツ少年団とドイツスポーツユースリーグ間の、「日独スポーツ少年団国際交流協定書」に基づき、両国のスポーツ少年団の優れた青少年および指導者の相互交流により友好と親善を深め、国際的能力を高めると共に、両国の青少年スポーツの発展に寄与するための事業。

(1) 派遣事業

〔実施時期〕 令和元年7月31日(水)～8月17日(土)(16泊18日)

〔実施会場〕 ドイツ連邦共和国ヘッセン州

〔派遣人数〕 団員6名 ※指導者派遣については、グループ編成内輪番制

〔費用〕 個人負担250,000円(内県本部補助 団員:100,000円)

(2) 受入事業

〔実施期間〕 令和元年7月25日(木)～8月1日(木)(7泊8日)

〔実施場所〕 久喜市

〔受入人数〕 指導者1名・団員11名

〔経費〕 2,000,000円(吉見町へ支払助成金)

4 指導者養成・研修事業

(1) 認定員養成講習会兼スポーツリーダー養成講習会

〔事業内容〕 日本スポーツ少年団指導者制度に基づき、スポーツ少年団の理念に添った指導・運営にあたる「スポーツ少年団認定員」を養成するとともに、併せて、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、地域住民のスポーツの生活化・定着化を促進するためのスポーツ指導者をサポートする「スポーツリーダー」の養成講習会を(兼ねて)開催をし、同内容を開催する市町村本部に助成(補助)をしました。

ア 県本部直接開催

〔実施期日〕 令和元年10月26日(土)・27日(日)

〔実施会場〕 スポーツ総合センター

〔参加人数〕 60名(うち認定60名)

〔受取参加料〕 2,200円

イ 市町村開催コース〔(助成(補助)事業)〕

〔実施時期〕 令和元年6月9日(日)～令和2年2月9日(日)

〔実施会場〕市町村 27 コース

〔参加人数〕1,505 名(うち 1,076 名認定、429 名保留)

〔受取参加料〕2,160 円程度(各会場で異なる) 9 月末日までの開催
2,200 円程度(各会場で異なる) 10 月以降の開催

〔支払補助金〕1 コース 110,000 円(総額 180,000 円以上)

(2) スタートコーチインストラクター移行研修会

ア 日本スポーツ少年団開催への派遣

〔事業内容〕2020 年 4 月に日本スポーツ少年団指導者制度が廃止され、日本スポーツ協会指導者制度に移行される事に伴い、2020 年度から新たに養成される「スタートコーチ(スポーツ少年団)」養成講習会で講師となる現認定育成員等に参加を促し、講習会を開催する体制の充実を図りました。

〔実施期日〕研修会：令和元年 10 月 22 日(火・祝)

講習会：令和元年 11 月 23 日(土)・24 日(日)

〔実施会場〕研修会：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

講習会：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

〔参加者〕研修会：40 名

講習会：1 名

〔支払参加料〕研修会：一人 2,200 円(×参加者実数)

講習会：一人 4,400 円(×参加者実数)

イ 埼玉県スポーツ少年団開催事業

〔事業内容〕スポーツ少年団の牽引役である認定育成員が一堂に会し、今日的課題についての研究や・情報交換を通し、認定育成員の更なる資質向上と、スポーツ少年団の活動体制の充実を図るために実施しました。

※事業実施を見送り

(3) 認定員研修会〔助成(補助)事業〕

〔事業目的〕日頃のスポーツ少年団活動において、子ども達の育成・指導にあたる「スポーツ少年団認定員」の資質の向上を図るとともに、情報交換を目的とする研修会の開催を助成(補助)しました。

〔実施期日〕平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

〔実施会場〕7 市町 7 コース

〔参加人数〕210 名

〔受取参加料〕原則、各会場とも無料(必要に応じて徴収可)

〔支払補助金〕1 コース 30,000 円

(事業規模 40,000 円以上・市町村負担 10,000 円以上)

(4) 母集団研修会〔助成(補助)事業〕

〔事業内容〕埼玉県スポーツ少年団では、スポーツ少年団活動を支援・協力するため、1 少年団に 1 育成母集団の結成を目指し、母集団(員)の中核的推進者を集めて育成研修事業の実施を助成(補助)しました。

〔実施時期〕平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

〔実施会場〕 16 市町 16 コース

〔参加対者〕 延べ 1,070 名

〔受取参加料〕 原則、各会場とも無料(必要に応じて徴収可)

〔支払補助金〕 1 コース 50,000 円

(事業規模 80,000 円以上・市町村負担 30,000 円以上)

(5) 埼玉県スポーツ少年団指導者現地研修

〔事業内容〕 県内の市町村スポーツ少年団競技別指導者の代表者が一堂に会し、今日のテーマの研修を行うとともに、種目別大会の運営方法について協議、情報交換をしてスポーツ少年団の健全な育成を図りました。

〔実施時期〕 令和 2 年 1 月 25 日(土)・26 日(日)

〔実施会場〕 群馬県高崎市「ホテル磯部ガーデン」

〔参加者〕 178 名(48 市町)

〔受取参加料〕 14,000 円

(6) 研究大会等派遣

ア ジュニアスポーツフォーラム派遣

〔事業内容〕 今後のジュニアスポーツおよび生涯スポーツの振興、ジュニア期のスポーツとその指導のあり方等についての研究を通して指導者個々の質的向上を図るとともに、ジュニアスポーツに対する望ましい指導体制を確立するために、現在ジュニアスポーツの指導に直接従事している登録指導者を対象に開催される研究大会に指導者を派遣しました。

〔実施時期〕 令和元年 6 月 16 日(日)

〔実施会場〕 ホテルグランドパレス(東京都)

〔参加者〕 9 名(スポーツ少年団登録指導者)

〔支払参加料〕 1,080 円(参加者自己負担)

イ 関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会派遣

〔事業内容〕 関東ブロック各都県のスポーツ少年団登録指導者の相互の連携と資質・指導力の向上を図り、指導活動の促進方法等について協議するとともに、スポーツ少年団活動の推進に資するために開催される研究協議会に関係者を派遣し、今後の少年団活動に役立てることが出来た。

〔実施時期〕 令和元年 11 月 2 日(土)・3 日(日)

〔実施会場〕 ホテルレイクビュー水戸(茨城県)

〔参加者〕 4 名

〔支払参加料〕 13,000 円(一名につき)

※関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会は関東各都県輪番制(8 年毎に開催)

5 リーダー養成・研修事業

(1) シニア・リーダースクール派遣

〔事業内容〕 将来のスポーツ少年団指導者の育成を目的に行われる日本スポーツ少年団シニアリーダースクールにジュニアリーダー有資格者を派遣した。

〔実施時期〕 令和元年 8 月 8 日(木)～12 日(月) 4 泊 5 日

〔実施会場〕 国立中央青少年交流の家(静岡県)

〔参加人数〕 5名

〔支払参加料〕 16,200円(一人)

(2)ジュニアリーダースクールの開講

ア ジュニアリーダースクール(県本部開催)

〔事業内容〕 日本スポーツ少年団リーダー制度に基づき、中学生を対象に単位団において模範となって活動する団員を育てるとともに、資質の向上と団活動の活性化を図りました。

〔実施期日〕 令和元年8月16日(金)から18日(日) 2泊3日

〔実施会場〕 スポーツ総合センター

〔参加人数〕 37名(うち37名認定)

〔受取参加料〕 9,000円(一人)

イ ジュニア・リーダースクール補助事業(助成(補助)事業)

〔事業内容〕 日頃のスポーツ少年団活動をしている小学生を対象に、将来ジュニア・リーダーを目指す団員を養成する。

〔実施会場〕 4市町4コース

〔参加人数〕 80名

〔受取参加料〕 4コース平均775円(市町本部の受取参加料)

〔支払補助金〕 50,000円(総額100,000円、市町村負担金50,000円)

(3)全国スポーツ少年団リーダー連絡会派遣

〔事業内容〕 全国都道府県スポーツ少年団リーダーの相互研修及び情報交換を通じ、各都道府県リーダー会の充実・強化、さらには全国的ネットワークの構築を目指し、各都道府県スポーツ少年団リーダー代表による全国会議に関係者を派遣し、今後のスポーツ少年団活動に役立てることが出来た。

〔実施時期〕 令和元年6月15日(土)～16日(日) 1泊2日

〔実施会場〕 国立刈苅記念青少年総合センター・ホテルグランドパレス(東京都)

〔参加者〕 2名(指導者1名・リーダー1名)

〔支払参加料〕 無料

(4)関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会開催

〔事業内容〕 関東ブロック内スポーツ少年団リーダーの相互研修を通じ、各都県及び市区町村リーダー会の充実・強化及びリーダー会の設置を促進するため、各都県スポーツ少年団リーダー代表によるブロック内の研究大会に派遣しました。

〔実施期日〕 令和元年10月19日(土)～20日(日) 1泊2日

〔実施会場〕 スポーツ総合センター(埼玉県)

〔参加者〕 31名(指導者8名・リーダー23名)

〔受取参加料〕 2,000円(一人)

(5)埼玉県スポーツ少年団リーダー会の育成(運営費補助)

〔事業内容〕 埼玉県スポーツ少年団リーダー会は、各市町村で活動しているリーダーが持つ共通の課題などの情報交換や、よりよいリーダーになれるよう普段の活

動をふりかえり、今後の活動に活かす勉強会や、リーダー相互の親睦を深める交流会活動などを支援するため補助を行ないました。

また、埼玉県スポーツ少年団大会やジュニアリーダースクールなど、各種事業への協力も行なっています。

〔支払補助金〕 200,000 円

6 地域交流補助事業

〔事業内容〕 日頃、生活圏で行われているスポーツ少年団活動に、子ども達の成長とともに広がる地理的視野の拡大に合せ、他団体や他地域と交流活動を行うことで、スポーツ少年団活動の活発化と地域交流の促進を図りました。

〔実施数〕 46 市町 69 事業

〔参加者数〕 43,000 名

〔支払補助金〕 50,000 円 （総額：100,000 円 市町村負担 50,000 円以上）

7 国内交流大会派遣事業

(1) 全国スポーツ少年団大会

〔事業内容〕 各都道府県代表の団員及び指導者の参加のもと、集団生活を行い、スポーツ活動・文化活動・野外活動・交歓交流活動等を通して、青少年のこころとからだを育てるとともに、スポーツ少年団活動をより一層促進し、地域における活動の活性化を図るため、本県少年団代表者を派遣しました。

〔実施時期〕 令和元年 8 月 1 日(木)～4 日(日) 3 泊 4 日

〔実施会場〕 長崎県立佐世保市青少年の天地 他(長崎県)

〔参加者〕 5 名(指導者 1 名 団員 4 名)

〔支払参加料〕 1 人 12,960 円

(2) 関東ブロックスポーツ少年大会

〔事業内容〕 関東ブロックにおけるスポーツ少年団活動の活発化と交流活動の促進を図るため、関東各都県の代表リーダー・将来のリーダー候補者及び指導者の参加を得て、研修・交流活動及び団体生活を通し、友情を育み、リーダーとしての自覚と成長を促し、資質の向上を図るため開催をした。

※関東 1 都 7 県、輪番開催

〔実施時期〕 令和元年 8 月 23 日(金)～25 日(日) 2 泊 3 日

〔実施会場〕 千葉県立鴨川青年の家(千葉県)

〔参加者〕 11 名(指導者 1 名 団員 10 名)

(3) 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会

〔事業内容〕 団員に競技の喜びを経験する機会と、より伸びるための研修の場を与え、軟式野球を通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的として実施される大会に、本県代表団を派遣する。

〔実施時期〕 令和元年 8 月 2 日(金)～5 日(月) 3 泊 4 日

〔実施会場〕 兵庫県立佐野運動公園第 1 野球場 他

〔参加者〕本県からの出場無

※参加チームは関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会の結果による。

〔経費〕支払参加料：無料 派遣費補助：5万円

(4) 全国スポーツ少年団剣道交流大会

〔事業内容〕団員にスポーツの喜びを経験する機会と、より伸びるための研修の場を与え、剣道を通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的として実施する大会に本県代表を派遣しました。

〔実施時期〕令和2年3月27日(金)～3月29日(日) 2泊3日

※新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

〔実施会場〕ホワイトリング(長野市真島総合スポーツアリーナ)

〔参加者〕8名(指導者1名・団員7名)

〔経費〕支払参加料：無料 派遣費補助：5万円

(5) 全国スポーツ少年団バレーボール交流大会

〔事業内容〕団員にスポーツの喜びを経験する機会とより伸びるための研修の場を与え、バレーボールを通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的として実施する大会に本県の代表団を派遣しました。

〔実施時期〕女子 令和2年3月27日(金)～3月30日(月) 3泊4日

男子 令和2年3月27日(金)～3月29日(日) 2泊3日

※新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

〔実施会場〕岐阜メモリアルセンター 他(岐阜県)

〔参加者〕女子 ジュニア深谷ガールズスポーツ少年団(深谷市)

※関東1都7県の輪番制により本県参加無

〔経費〕受取参加料：無料 派遣費補助：5万円

(6) 関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

〔実施内容〕関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会を通じて、団員に競技の喜びを経験する機会を提供すると共に、関東地区間の団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯感を高めることをねらいとして実施される大会に派遣しました。

〔実施期日〕令和元年7月26日(金)～28日(日)

〔実施会場〕群馬県

総合開会式 : ALSOK ぐんま総合スポーツセンター ぐんまアリーナ

軟式野球 : 桐生球場、広沢球場

バレーボール : 高崎市榛名体育館

バスケットボール : ALSOK ぐんまアリーナ

バドミントン : 桐生大学グリーンアリーナ

空手道 : ALSOK ぐんま武道館

〔参加者〕軟式野球 : 大宮パワーズ(さいたま市)

バレーボール：宮原ジュニアバレーボールスポーツ少年団(さいたま市)
バスケットボール男子：朝霞台ユニオンズスポーツ少年団(朝霞市)
バスケットボール女子：行田ラビッツスポーツ少年団(行田市)
バドミントン：埼玉南部選抜
空手道：埼玉県スポーツ少年団空手道部会(選抜)

〔経 費〕 支払参加料：無料 派遣費補助：5万円

8 埼玉県スポーツ少年団表彰

〔事業内容〕埼玉県及び県内市町村においてスポーツ少年団の育成に尽力している者で、登録指導者として10年以上にわたり活動し、スポーツ少年団の育成に特に顕著な功績があり、認定員の資格を有する者で、今後も引き続き活動が期待できる者を表彰し、指導者の活動意欲を高揚するとともに埼玉県スポーツ少年団の充実・発展を図りました。

〔実施時期〕令和元年12月7日(土)

〔実施会場〕東武バンケットホール上尾

〔受賞者〕46市町82名

南部：	10市	32名	西部：	17市町	20名
北部：	7市町	11名	東部：	12市町	19名

〔経 費〕受取参加料：6,500円

9 日本スポーツ少年団顕彰

〔受賞者〕団体(本部) 6市町 指導者 5名

10 スポーツ少年団「スポーツともだち仲間たち」の発刊

〔事業内容〕県スポーツ少年団で行った事業内容や、調査結果等を集約し、日頃のスポーツ動等への理解を深め、今後の活動に役立てるために情報提供を行なった。

〔発刊時期〕7月・12月・3月

〔配布対象〕市町村63本部及び1,583団(令和元年度登録団数)

〔経 費〕3回分製作代

公益4 スポーツ総合センター運営事業

1 スポーツ総合センターの管理・運営

(1) 施設利用に係る受付業務

体育施設、研修施設、宿泊施設の利用について、年間の利用調整、利用申請の受付、施設使用料の徴収などを行った。

(2) 施設設備の維持管理

建物や設備の維持管理を行うとともに、業務委託契約に係る業務進捗状況等の確認を行った。

(3) トレーニング場利用者講習会（月2回）

トレーニング場を個人利用するための講習会を行った。

参考 施設利用者数

施設	利用者数	施設	利用者数
体育館	49,505名	講堂研修室	53,312名
多目的室	20,095名	その他	1,059名
体育実習室	9,561名	宿泊施設	9,269名
トレーニング場	20,104名		
庭球場	4,004名	計	166,909名

収益1 大宮公園スポーツランド(飛行塔)の運営

1 大宮公園スポーツランド(飛行塔)の運営

月	利用者数	本会収益 (15%)
4月	9,758名	865,830円
5月	5,847名	
6月	1,616名	
7月	1,404名	314,970円
8月	9,635名	
9月	3,211名	
10月	2,447名	493,815円
11月	4,518名	
12月	2,226名	
1月	8,397名	629,805円
2月	3,843名	
3月	3,689名	
合計	56,591名	2,304,420円

収益 2 アイスアリーナの管理運営

本会が事業主体となって、さいたま水上公園内にアイスアリーナを整備し、運営を付した施設の貸出しを行なう事で、公園の機能の増進に資することにより、氷上スポーツの普及・振興と競技力の向上を図った。

月\入場者	一般	校外	団体	定期	教室	クラブ	観覧等	貸切	合計
4月	4,430	0	852	248	1,745	2,627	630	2,790	13,322
5月	4,028	4	738	262	1,289	2,075	538	3,456	12,390
6月	4,477	226	792	187	1,253	2,083	651	3,180	12,849
7月	3,902	134	619	204	1,210	2,546	527	2,774	11,916
8月	3,704	0	874	166	1,013	2,513	607	2,498	11,375
9月	4,219	0	890	203	1,221	2,270	729	3,544	13,076
10月	3,215	145	553	203	926	2,001	516	3,287	10,846
11月	4,829	205	633	194	1,225	1,795	428	3,352	12,661
12月	5,797	217	1,939	299	1,225	2,539	715	3,406	16,137
1月	8,149	52	2,247	294	1,176	2,093	1,113	2,817	17,941
2月	5,999	84	1,638	269	1,126	1,829	660	2,960	14,565
3月	106	0	262	291	1,110	1,602	76	2,005	5,452
合計	52,855	1,067	12,037	2,820	14,519	25,973	7,190	36,069	152,530

法人 県スポーツ協会運営事業

1 諸会議

(1) 評議員会

定時 令和元年 5月 28日(火) ラフレさいたま

臨時 令和 2年 3月 25日(水) ラフレさいたま

※臨時評議員会は、新型コロナウイルス感染症予防対策により書面決議。

(2) 理事会

定例第一回 令和元年 5月 13日(月) スポーツ総合センター

定例第二回 令和元年 9月 3日(火) スポーツ総合センター

定例第三回 令和元年 12月 18日(水) スポーツ総合センター

定例第四回 令和 2年 3月 6日(金) スポーツ総合センター

※第四回は、新型コロナウイルス感染症予防対策により書面決議

(3) 加盟団体協議会

第一回 令和元年 5月 17日(金) スポーツ総合センター

第二回 令和 2年 3月 27日(金) スポーツ総合センター

(4)市町村連絡会議 (I—5に掲載)

(5)専門委員会

ア 総務委員会

第一回 令和元年5月8日(水) スポーツ総合センター

第二回 令和元年8月27日(火) スポーツ総合センター

第三回 令和元年12月11日(火) スポーツ総合センター

第四回 令和2年2月28日(金) スポーツ総合センター

イ 選手強化対策委員会

(ア)強化対策委員会

第一回 平成31年4月23日(火) スポーツ総合センター

第二回 令和元年9月3日(火) スポーツ総合センター

第三回 令和2年1月15日(水) スポーツ総合センター

(イ)常任委員会

期日：令和元年12月17日(木) 会場：スポーツ総合センター

(ウ)競技力向上事業関係諸会議

・第1回選手強化対策委員会及び競技団体強化・経理担当者合同会議

期日：平成31年4月23日(火)

・選手強化対策特別委員会

期日：令和元年6月5日(水) 会場：県民健康センター

・第74回国民体育大会埼玉県選手団監督選手選考会議・監督会議

期日：令和元年9月3日(火) スポーツ総合センター

・競技別強化対策会議

期日：令和元年11月25日(月)～27日(水) 会場：スポーツ総合センター

ウ 普及委員会

エ 広報委員会

第一回 令和元年9月25日(月) スポーツ総合センター

オ 施設委員会

カ スポーツ科学委員会

(ア)スポーツ科学委員会

第一回 平成31年4月25日(木) スポーツ総合センター

第二回 令和2年2月20日(月) スポーツ総合センター

(イ)専門部会

・スポーツ科学 3回

・スポーツ医学 1回

・コーチング 3回

・アンチ・ドーピング 2回

キ 指導者委員会

(6) 特別委員会

100周年特別委員会

ア 記念式典部会

イ 記念誌部会

ウ 事業部会

(7) 諮問委員会

ア 物品等請負業者選定委員会

期日：令和元年11月11日(火) 会場：スポーツ総合センター

イ 顕彰委員会

第一回 令和元年5月10日(金) スポーツ総合センター

第二回 令和2年2月6日(木) スポーツ総合センター

ウ 倫理委員会

期日：令和2年2月25日(火) スポーツ総合センター

(8) その他

ア スポーツ少年団

(ア) 本部員会

第一回 令和元年5月18日(土) スポーツ総合センター

第二回 令和元年7月6日(土) スポーツ総合センター

第三回 令和元年10月19日(土) スポーツ総合センター

第四回 令和元年12月7日(土) 東武バンケットホール上尾

第五回 令和2年3月21日(土) スポーツ総合センター

※第五回は、新型コロナウイルス感染症予防対策により中止のため、書面決議。

(イ) 代議員会

令和元年5月18日(土) スポーツ総合センター

(ウ) ブロック本部長会議

東部：令和元年11月17日(日) 越谷市役所第三庁舎(越谷市)

西部：令和元年11月10日(日) 鶴ヶ島市富士見市民センター(鶴ヶ島市)

南部：令和元年11月24日(日) 和光市役所(和光市)

北部：令和元年11月30日(土) 皆野町文化会館(皆野町)

(エ) スポーツ少年団専門委員会等

・指導者・リーダー育成委員会 8回

・企画広報委員会 9回

・活動交流委員会 8回

・指導者協議会評議員会 1回

・指導者協議会運営委員会 9回

・正副委員長会議 5回

・倫理委員会 2回

・種目別担当者会議 2回

・ジュニアリーダースクール 1回

(オ)市町村スポーツ少年団事務担当者会議

期日：令和2年3月21日(土) 会場：スポーツ総合センター

※新型コロナウイルス感染症予防対策のため、中止

イ 埼玉県スポーツ指導者協議会

(ア)理事会

第一回 令和元年6月6日(木)

会場：スポーツ総合センター

第二回 令和2年1月15日(水)

会場：スポーツ総合センター